

花岡城址公園

釜口水門に隣接する小高い山にある公園です。春には桜が咲き、地元有志により鯉のぼりが飾られます。この地は諏訪湖や岡谷方面の視界が良く、伊那方面の入り口であり、戦国の時代には小規模な城がありました。

昭和の時代には料理屋や色々な施設があったようですが、現在は城の土塁が残るのみです。

公園への入り口は釜口橋近くの和菓子店横にありましたが、現在は破損が激しく通行禁止になっています。

通路途中に松尾芭蕉の句碑があり、菓子店右の宗教施設側から行くことができます。句文は

いささらは
雪見にころふ
處まで

と書かれています。

頂上の公園へは通称鎌倉街道と呼ばれる山側の道から入ります。

山麓には諏訪藩が作ったと言われる灯籠と不動明王がありますが、次第に自然に帰っているようです。頂上近くにある不動明王は前ページをご覧ください



花岡城址公園の遠景



花岡公園の桜



松尾芭蕉の句碑（大正7年建立）



山麓にある鳥居と灯籠

花岡公園にある石碑の紹介図（花岡区史より転載）

